

(様式第1号)

**指定管理者制度導入施設モニタリング票（評価対象年度:平成2年度）**

施設の名称	名取市みのり園
指定管理者の名称	社会福祉法人みのり会
施設所管部課（室）	健康福祉部社会福祉課

**1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】**

期 間	管理形態	指定管理者（管理受託者）	摘要
昭和62年 3月 ～平成14年11月	管理受託	名取市手をつなぐ育成会	
平成14年12月 ～平成18年3月31日	管理受託	社会福祉法人みのり会	
平成18年4月1日 ～	指定管理者	社会福祉法人みのり会	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

**2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】**

指定管理者の名称	名称	社会福祉法人みのり会
	所在地	名取市上余田字千刈田528番地1
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年0ヶ月）	
募集方法	公募・ <u>非公募</u>	

**3. 施設の概要 【施設所管課記入】**

施設の名称	名取市みのり園
所在地	名取市増田一丁目8番34号
設置年月	昭和62年3月（障害者福祉作業所として設置）
根拠条例等	名取市障害者支援施設条例、名取市障害者支援施設管理規則
設置目的	雇用されることが困難な、市内に住所を有する在宅の障害者に対し、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく就労継続支援を行うため。
施設の内容	作業室、厨房、事務室
開館時間	午前9時～午後4時
休館日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/28～1/4）
指定管理者が行う管理運営業務	就労継続支援の実施に関する業務 施設の維持管理に関する業務 その他市長が別に定める業務
利用料金制度	採用の有無 <input checked="" type="radio"/> 有・無
	利用料金の名称 施設の利用に係る料金

#### 4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（%） （A） / （B）
	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
開催日数	235日	253日	261日	92.9%
延べ利用者数	6,367人	5,855人	6,069人	108.7%
利用者数（人/日）	27.1人/日	23.1人/日	23.3人/日	117.3%
主な増減原因				

（注）対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

#### 5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

（1）収入

（単位：千円、%）

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（%） （A） / （B）
	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
指定管理料	-	-	-	-
利用料金収入	46,354	42,046	43,459	110.2%
その他	11,257	11,091	10,726	101.5%
収入計（ア）	57,611	53,137	54,185	108.4%

（2）支出

人件費	25,670	24,278	21,344	105.7%
施設管理費	3,000	3,006	4,037	99.8%
事業運営費	1,727	1,163	1,258	148.5%
その他	17,890	18,294	24,300	97.8%
支出計（イ）	48,287	46,741	50,939	103.3%

（3）収支

収支（ウ） = （ア） - （イ）	9,324	6,396	3,246	145.8%
前期繰越収支差額	57,256	50,860	47,614	112.6%
次期繰越収支差額	66,580	57,256	50,860	116.3%

## 6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

障害福祉サービス評価を基に事業計画を立ててサービス向上に向け取り組んでいる。老朽化した施設に対する不安の声が上がる中、名取市と協議しながら改善を行っていることを、毎月発行のお便りで情報発信を行ってきた。

令和2年度の計画に、利用者様保護者様のニーズに沿ったサービス提供に向け、要望等伝えやすい環境整備や検討していく体制を整えると掲げたが、今年度は要望が多かった送迎サービス開始に向け検討を行ってきた。（令和3年4月1日より開始）サービスを開始することで、利用を継続することが出来る利用者も増えると思われ、さらには外部からも利用希望者が増える可能性が出てきたと考える。

## 7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

毎年、4月1日に新年度の集いとして、利用者と職員の懇談会を行っている。その中で、利用者主体の行事の希望や、工賃について目標金額や支給方法などの意見交換などを行っている。もらった意見については、工賃倍増戦略会議等で検討を行っている。検討した内容を次の懇談会で報告も行っている。

その他にも、利用者自身が施設に対する要望や作業環境で改善を希望したりと意見を述べる良い機会になっている。

## 8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

食品衛生法改正に伴う暖房機器の改善を行っていただき、大変感謝している。

しかし、東日本大震災以降も度重なる地震の影響なども見られ、施設自体の老朽化は大きな問題である。

不具合の修繕などはしていただき、保護者にも報告は行ってはいるが、建物自体の整備が行われない限り、利用者ご家族とも安心は得られないのではないかとと思われる。毎年の福祉サービス評価でも毎回評価が低い項目である。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	◎
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
		法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○
	法令等の遵守	開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
その他、関係法令等が遵守されている。		○	○	
2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価		指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○
	実施	業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。	○	○
	自主事業の 実施	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
	利用者の満足 度向上	利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	○	○
	利用者の苦情、 要望等の把握	利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	◎
	とその対応	苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	◎
	利用状況等	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	○	◎
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

**【評価の基準(目安)】**

評価		評価の考え方
◎	(優 良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良 好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「―」を記入する。

**10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】**

業務内容の全般について、関連する基準等を遵守するとともに協定書等に定める業務を適正に実施していた。  
また、平成30年度からの決算をみると、市からの指定管理料がないにもかかわらず各年度共に黒字で財政基盤の安定化が図られている。  
なお、令和2年度決算は新型コロナウイルス対策のため開館日数が少なくなったが、1日当たりの利用者数が増え年間の延べ利用者数が増となり利用料金収入は増加している。このことから収入は、コロナ禍で受託事業収入が減となったが全体として8.4%増となり、また、支出については、人件費が増加したものの経費削減に努め、全体として3.3%増となり、収入支出差額は黒字で前年度より改善している。  
今後も雇用されることが困難な障がいのある方への活動の機会を提供する場として重要な役割を担っており、これまでどおり寄り添った事業展開を期待する。